

医療用品 4 整形用品
一般医療機器 ギプス包帯
JMDN コード：33056000

スリーエム™ ソフト キャスト

再使用禁止

【警告】

完全に硬化するまで、無理な力や体重をかけたりしないこと。
[本品が変形、破損し、けがをするおそれがあるため。]

【禁忌・禁止】

1. 再使用禁止
2. 硬化前の本品を素手で触らないこと。また、硬化前の本品に直接肌が触れないようにすること。
[樹脂の付着並びに皮膚障害の可能性があるため。万一、樹脂が付着した場合は、樹脂が硬化する前にアルコール等の有機溶剤で拭き取ること。]

【形状・構造及び原理等】

1. 形状・構造
本品は、ガラス繊維ニットにポリウレタン樹脂を含浸させたもので1ロールずつ防湿袋に包装されている。湿気や水と反応し硬化するが、硬化後も弾力性は維持される。
2. 原理
本品は、ガラス繊維に含浸したポリウレタン樹脂が水と反応することで、硬化して患部を固定できる剛性と強度を発現する。
(外観)



【使用目的又は効果】

プラスチックとガラス繊維から構成される、骨折、疾患のある関節または疼痛のある捻挫を固定するための機器である。

【使用方法等】

《使用方法に関連する使用上の注意》

- ・使用前に防湿袋の上からロールが柔らかいことを確認し、硬くなっていたら使用しないこと。
- ・ゴム手袋を着用後、本品を開封すること。
- ・患部に腫脹、感染創、潰瘍、発疹等がある患者には慎重に適用すること。必要に応じて開窓する等の適切な処置をして、使用すること。

使用方法：

1. ストッキネットで適用部位に下巻きを行う。骨隆起部位などの圧迫部位の保護を強くする場合には、キャストパッドを追加して巻く。圧迫のため巻く場合は、キャストパッドを適用部位全体に使用する。
2. 樹脂が皮膚に付着することを防ぐため、必ずゴム手袋を着用すること。
3. テープを水に浸してから巻く。テープに浸透させる水の量により、セットタイム（テープを巻き終え、モールドイングを行った後、キャストから手を放しても形が維持される程度に硬化す

るまでの時間）を調節できる。

- 1) テープを水中で3回もんでから引き上げた場合のセットタイムは約3分である。
- 2) セットタイムを長くしたい場合は、水中でもまずに使用する。水中でもまずに引き上げた場合のセットタイムは約4分である。
4. テープ幅の1/2～2/3くらい重ねながらラセン状に巻く。この時、良好なフィットを得るために、締めすぎないように僅かにテンションをかけながら巻くこと。特に、テープ端の20～30cmは引っ張り過ぎないようにする。
5. 巻く層数により、固定の度合いを調整する。
6. 巻き終わった後、ゴム手袋を水につけて、よくモールドイングしテープ表面を平滑にすると共にテープ同士の接着を良くする。
7. 約10分後に完全硬化するのでその間は患者を動かさないこと。
8. 更に巻く必要がある場合には、最初に巻いたテープが硬化してから、その上にテープを重ね巻きし、良く接着させること。

除去方法：

本品の除去は、ハサミで切断するか手で巻き解いて外す。ギプスカッターで除去することもできるが、特にキャストパッドを少ししか使用していない場合は、患者を傷つけないように注意すること。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意
 - 1) 本品装着中、及び装着直後は、発熱を伴うので、患者が熱さを訴えた時は直ちに本品を外すこと。
 - 2) 本品使用中に、痛み、しびれ等の症状が現れた場合には、直ちに医師に相談するよう患者に指導をすること。
 - 3) 本品使用中に、皮膚障害と思われる症状が認められた場合は、直ちに使用を中止し、適切な処置を行うこと。
 - 4) 本品は水硬化性ポリウレタン樹脂を使用しているため、防湿袋が破損している場合やロールの一部が硬い場合は使用しないこと。
 - 5) 防湿袋を開封したら直ちに使用すること。
2. 不具合・有害事象
 - 1) 本品を長期間装着する場合、発汗等により、皮膚障害が発生する可能性がある。定期的な観察をすると共に、異常を感じた時は、直ちに医師に連絡するよう患者に指導を行うこと。
 - 2) 本品の過度な締めつけにより、循環障害や神経麻痺が発生する可能性がある。症状が認められた場合は、直ちに使用を中止し、適切な処置を行うこと。
3. その他の注意
 - 1) はれや出血のある部位には、ギプスシャーレ等、その症状に応じた処置をすること。
 - 2) 樹脂が皮膚や衣類に付着しないように注意すること。皮膚や器具に付着した場合は、すぐにアルコール等の有機溶剤を使って拭き取ること。
 - 3) 長期間保管すると、温度・湿度により自然硬化することがあるので、先に購入したのから順次使用すること。
 - 4) 未開封の本品を、乱暴に取扱わないこと。防湿袋に穴があき、空気中の水分が袋内に流入し、テープが硬化して使用できなくなることがある。
 - 5) 樹脂の偏りの原因となるので、長期間、箱を縦積みしたり、防湿袋を立てて保管しないこと。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法
室温保存
2. 有効期間
使用の期限：個包装及び外箱に記載

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

名称：スリーエム ジャパン株式会社
TEL：0570-011-321（カスタマーコールセンター）

スリーエムは3M社の商標です。